

◎ 夏休み校長日記その2 (8月1日~29日)

●8月1日(日) 今日も来ました、見聞きました。

今日も、朝から水やりに来ました。少し、仕事をとって職員室にいと、「1・2、それっ・・・」と元気な声が聞こえてきます。そうです。本校児童が多く在籍している少年野球チーム『喜志ジャガーズ』の練習が始まったのです。もうすぐ大会ということで、気合を入れて練習していました。指導者や保護者のみなさん、コロナウイルス感染症や熱中症へのきめ細やかな対策をとって頂き、ありがとうございます。また、こどもたちとともに、スポーツを楽しんでおられる姿にも感動しました。

●8月2日(月) 少し暑さもましでは、と期待しました。が・・・!

今日は、5時20分に水やりをスタート。早くから日の当たるところを先にやっています。いつもなら、5時40分前後には、東館を越えてプール外の花壇を朝日が照らすのですが、今朝は、曇っていて日は差さずでした。「今日は一日、暑さがましかも・・・」と内心喜んでいたのですが、正門付近の水やりを終えて、再び運動場に行ってみると、お日さまキラキラ。いつもと同じ『夏』でした。みなさん、引き続き熱中症にも注意しましょうね。

●8月3日(火) 違いとは?

今朝も、いつものように3時45分起床。ただ、いつもと違い外が明るくなって来ず、窓を少し開けると、にわか雨。「学校、水やりしなくてもいいかも?」と思いながら、いつもよりゆっくりと準備し、学校へ。雨は小降りながら続いていて、花壇の土も少し湿っています。ということで、今朝は草抜きをしました。パンジーも含め、花に栄養がいかないかもという心配から、雑草を抜いたのですが、雑草にも当然、命があるわけで、「雑草さん、ごめんね。」と一声かけながら、作業を続けました。雑草と草花、さてその違いってなんだろう?

●8月4日(水) 午前6時の『雨にも負けず』

昨日午後、雷が鳴って、短時間ではありましたが、結構な量の雨が降りました。夏休みに入ってから初めての雨ではなかったでしょうか。ということで、今朝は、水やりの前に校内を1周し、安全確認をしてから、ひさしの下で、雨がかからなかったところのみ水やりをしました。一方、雨に打たれているところについては、パンジーの花も含めて大丈夫。特に変化はありませんでした。体育館にのぼる階段裏には、以前からツバメの巣があるのですが、巣の入り口がどんどん伸びてトンネル状になっていました。自然は本当に不思議ですね。ひょっとしたら、これも『雨にも負けず』かもしれません。

●8月5日(木) 日々新たに

いつものように、朝の水やりをしました。運動場に出て最初に出会うのは、カラスです。2羽(パートナーかな?)が校舎の上から、運動場を見下ろしています。私の気配を感じると飛び立つのですが、毎朝のことなので慣れたもの、すぐに別の場所に止まり、また私の動きを見えています。しばらくすると、カラスは学校の外へいき、入れ替わるように、おそらく近所で待機していたのでしょう、ツバメが飛び交います。程よく巡回しながら、昨日紹介した巣へ入ります。毎日の繰り返しなのですが、少しずつ違いがあって楽しいです。『日々新たに』ですね。そして、今日も暑くなりそうです。ご自愛ください。

●8月6日(金) 76年前の今日とのつながり

今朝の喜志小の空は、不思議続きでした。夜明け前、東だけでなく真上、そして西の空までもが、オレンジ色に染まっていた。それから、逆に暗くなっていきました。よくみると、体育館から音楽室にかけての空に、虹がかかっています。じっと見ていると、虹が二重に見えます。いえ、二重ではなく、二本かかっていたのです。生まれて初めて同時に二本の虹をみました。それから、日が差し

てきたと思ったら、雨が降り出してきました。ツバメは、いつものように旋回しているのですが、巣には行かず、職員室前玄関のひさしの下にタッチしては、また旋回を繰り返していました。広島に原子爆弾が投下されてから、今日で76年過ぎましたが、今日の空を見て、あらためて忘れてはならない、伝えていかなければならないという思いを強くするのでした。

●8月7日(土) 喜志小にある、自分の知らない世界

今朝は、東の山(二上・葛城・金剛)に雲がかかり、稜線を薄墨色のクレパスでなぞったような感じでした。それを見ながら学校へ。昨夜の雨で、水やりはなし。でもまたまた不思議なことに、バケツ稲の水は減っていたので、これには補水しました。ツバメは、また長いトンネルをくぐっています。さて、パンジーはというと、やはり少しずつ数を減らしています。でも、まだいけそうです。ある先生が、「紫色は強いなあ」と言われるので、あらためて見ていくと、確かに紫色が多く残っています。これも、不思議です。まだまだ自分の知らない世界があるようです。ますます楽しいです。

●8月8日(日) 自然は面白い

毎朝、自然は違った姿を私たちにを見せてくれます。ツバメは、巣立ちを迎えたのか、長いトンネルをくぐることも、またそこから出てくることもなくなっていました。しかし、正門すぐそばの理科室外の軒先を10羽あまりで旋回しています。新しい巣を作ろうとしているのかもしれませんが。5年生が育てている『バケツ稲』も、稲穂を出しました。桜井町の田んぼでは、もう1週間前にたくさんの稲穂が出ていたので、少し心配していたのですが……。稲穂だけに、ほ(穂)っとしました。

●8月9日(月) 人や自然を想う

昨夜、東京2020オリンピックの閉会式をテレビで見ました。画面には、縁取り状態で、台風情報が流れています。オリンピックで得た感動とともに、台風による被害が出ないことを祈るばかりでした。また閉会式の映像では、手話通訳がありました。開会式の時にはなく、字幕はあったものの、映像と時間がずれてしまって、リアルタイムでの感動が薄れたとのことでした。当事者の方ばかりでなく、多くの世論が(本来当然ではありますが)メディアを動かしたのでした。早朝の雨で、水まきは、軒下のみ行いました。先日雨が降った時、「少しぐらいやらなくてもいけるだろう」と、軒下の草花に水やりをしなかった結果、もう少しのところで枯れるところだったという反省からです。私には、ワンチャンス与えられたようで、今では、もとのようにきれいな花を咲かせてくれています。

●8月10日(火) 自然はたくましい

昨日の雨風(台風)は、思わぬ形で私に自然のたくましさを教えてくれました。1年生の朝顔の植木鉢は、いっぱいの花を咲かせ、私たちを楽しませてくれました。今は各家庭に持って帰ってもらっていますが、もう少し立つと種がとれるのでしょよね。実は、1年生の先生が、万が一こどもたちの朝顔が育たなかった時のことを考え、予備の朝顔を育てていて、5年生のバケツ稲の横に一鉢置かれていたのです。バケツ稲に水を入れるついでに、毎朝この朝顔にも水をやっていましたが、もう花は咲かずでした。今朝も、いつものように水をやろうと運動場へ出ると、朝顔の鉢は、横倒しになっています。「そりゃ、昨日の風じゃ倒れるわなあ」と思いながら、もとに戻そうと植木鉢に手をかけると……。なんと花が咲いています。それも6輪。自然って本当にたくましいなあ。

●8月11日(水) 人間もたくましい

昨日話題に出した朝顔。今朝は数えきれないほどたくさんの美しい花を咲かせています。バケツ稲は、これも多くのバケツが穂を出していて、2学期が始まるまでに全員のバケツに稲穂が出ることを祈っています。さらに、ひまわりの畑では、トマトが依然として、たくさんの赤い実をつけています。学童クラブに来た児童とその様子を見ながら、少しお話をしました。「学童もたいへんやねん。」「でも、今日もがんばるねん。」親の苦労もわかりながら、たくましく生きている様子に感心しました。私も彼を見習って、引き続き『水やり、そして研修と充電』の夏を過ごします。

●8月12日(木) 自然との共存

今朝に雨が降って、今(朝6時)は曇り空です。天気予報では、このあと雨が続くとのこと。雨が降って少し気温も下がって過ごしやすくなる、熱中症も減る、よく眠れる等々いいことが増えます。しかしながら、場所によっては、農作物に影響が出たり、土砂崩れや河川の氾濫等が起こったりするかもしれません。最近、「何十年に一度の・・・」というフレーズを耳にします。以前は精密な観測や記録が出来ていなかったからだという意見もありますが、私は人間があまりにも自然を大事にせず、環境破壊を繰り返してきたつけが今来ているような気がしてなりません。今の世に生きる人間が、しっかり考え、実際に(小さいことから)行動を起こすことが、唯一の解決策ではないでしょうか。今日も“喜志”でやってみようと思います。

●8月13日(金) こどもたちは強く、やさしい

昨日来、雨は降り続き、学校では今(午前8時過ぎ)も、僅かではありますがやはり雨が降っています。夏休みも折り返しに入っています。こどもたちから先生方に、たくさんの暑中(残暑)見舞いのはがきが届いていますが、上手に思い出をつくってくれているようでうれしいです。大人が考えているよりもずっと、こどもたちは強い。「先生も元気ですか」「先生も楽しい夏休み過ごしてね」等など、「も」と入っていてほっとします。今日も、この子らのために“喜志”で生きていきます。

●8月14日(土) 喜志小のお盆

今朝も喜志小学校には、まだ雨が降り続いています。最近梅雨の時期でも、これ程長い時間降り続くことはないのではとしばし考え込んでしまいます。11日の朝まで、学校はお線香のいい香りに包まれていました。すぐ近くの墓地から風に乗ってくるこの香りに「今年もお盆が来たなあ」と思うのです。本校を卒業され、今は離れたところでお住まいの方には、懐かしい情景が思い浮かぶのではないのでしょうか。一緒に、“喜志”のご先祖様にも思いを馳せながら、今日もお互いに小さな一歩を大切にしたいものですね。

●8月15日(日) 喜志の地から、平和を創る

今朝(午前7時)の喜志小学校、雨は小康状態というところでしょうか。天気予報(雨雲レーダー)によると、正午頃には雨はあがるようです。一方で、20日前後まで、前線は本州に停滞するという予報もあって、これ以上被害が拡大しないことを願うのみです。また、今日は終戦の日です。どのような形(話を聴く、本を読む、映像を見る等)でもいいので、戦争を知り、伝えていくことが、今を生きる私たちの使命ではないのでしょうか。そこから、平和が創られていくのですから。今日も「さあ、やってみよう!喜志一心」

●8月16日(月) 三つの『火』

昨日、東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 富田林市『採火式』が、本校にて開催されました。参加を希望された本校児童及び家族52組によって、火起こし器による種火起こし、「奇跡の復興米」の藁を使って火の拡大を経て、最後にトーチに収められました。この火は、大阪府内各地から集められ、大阪府の火として東京へ、さらに全国各地から集められた火が一つとなり聖火となります。ぜひ、パラリンピックの聖火をご覧ください。「見よ!あれが“喜志”の火だ」 なお式中、本校児童による作文の披露も行われました。この作文は、ご覧のHPの「校長室より」フォルダ内、「三つの『火』」ファイルに収めていますので、ぜひご覧ください。

●8月17日(火) 災害黙考

昨日、そして今朝も雨が降っています。新聞やテレビ等では、長雨による土石流により尊い命が奪われるという事故が報道されています。その中には、助けを求めた方と助けを求められた方が、ともに亡くられるというものもありました。言葉が見つかりません。心からご冥福をお祈り致します。

また本校は、比較的平坦な地にあるのですが、校区には斜面もあり、また石川もあります。自然との共存の仕方には、さまざまな方法がありますが、危険箇所等も、日頃から自分たちでしっかり確認して、災害のない“喜志”にしていきたいと思います。学校においても、こどもたちとともに防災・減災について考え、行動を起こしていきます。

●8月18日(水) 自然に「ありがとう」

1学期、3年生がプランターに、マリーゴールドとハウセンカの種をまきました。マリーゴールドが数本芽を出しただけで、夏休みに入りました。私は考えました。「このまま水をやらなければ確実に全滅やな。また、新しく芽を出すこともないだろうな。」そこから私の実験が始まりました。他の植物と同じように、このプランターにも、毎朝水やりをしていったのです。7月中は全く変化なしでした。8月に入り、まず枯れかかっていた2本のマリーゴールドが息を吹き返したようで、10cm程の丈になり、かわいい花を咲かせました。数日後、ハウセンカが芽を出し、ついに今朝、花を咲かせました。「みんなよくねばってくれたね。ありがとう。」やさしく声をかけました。

●8月19日(木) 自然は強いが、油断大敵

いつもは3時45分起床の私。どうせ今日も雨だろうと不覚にも二度寝。気がつけば、5時30分で雨はなし。大急ぎで身支度、朝食……。学校には、6時20分着。いつもは、5時台なのですが……。昨夕は、学校の玄関軒下にあるプランターの花が枯れかかっている、あわてて水やりをして帰宅。これは、今朝、もとのようにかわいい花をいっぱい咲かせてくれていてほっと胸をなでおろしました。「心と体に余裕をもって生活する」ことが大切だなあと、あらためて思いました。今日も一日楽しく“喜志”で過ごします。

●8月20日(金) 生まれて二度目の……

今朝は、6時前の桜井の田んぼから“喜志”生活のスタートです。5年生がつくった案山子を持っていきました。実は昨夕、私の車に、2体の案山子を積み込み帰宅。というわけで登校前に田んぼに寄ったのです。案山子を車から降ろしていると、スマホを空に向けられている方が横を通られます。その方向を見ると、何と生まれて二度目の、二本の虹があったのです。しかも8月6日に(生まれて初めて)見た時よりも大きく半周円を描いていました。一か月に二度、それも二本の虹を見られるなんて……。さあ今日も、“喜志”は、いい日になりそうです。

●8月21日(土) 日々、自然を楽しむ

今朝は、6時15分登校。私の『通学路』から、東山の山並みが望めるのですが、今朝の二上山は、雄山と雌山の間に奈良県側から、緩やかな川の流れのような雲海が入ってくる、とても素敵なお光景が広がっていました。そうそう、昨日は登校日だったのですが、「校長先生、毎日学校へ来ているのですか。」(おそらくこの日記を見ているのでしょう)と児童に聞かれました。「そう、毎日生中継!」と答えました。また、昨日5年生が地域のみなさんのご協力のもと、案山子を立てました。全部で4体。すでにスズメが稲穂を突っついていましたが、案山子の姿に驚き逃げていました。

●8月22日(日) ひと休み

今朝は、6時20分登校。『通学路』では、一瞬雨らしきものが降ったが、西には雲間から青空すら顔をのぞかせていました。パンジーは本当に少なくなり、プール下の花壇は、とうとう全滅となりました。図書館外では、かろうじて10数輪がねばってくれていました。職員室に戻り、家から持ってきた朝刊を読む。ニュースは相変わらず心が重くなるものが多い。でも読む。そして考えさせられる。自然も、社会も……私たち大人は、こどもたちに何を残せるのだろうか。こどもたちは、大人のどこに明日を見いだせるのだろうか。今日もともに生きながら、答えがないのかもしれない問いを考えたい。

●8月23日（月） 地域を想像・創造する

今朝は、6時30分登校。いよいよ夏休みもあと1週間。先週金曜日（登校日）、こどもたちの様子を見て、まずは職員一同ほっとしました。今日からは、2学期そしてスタートの1週間何を大事にしていくのか、何に気を配っていくのかを確認しながら、具体の準備に入っていきます。事ある毎に触れていますが、学校の主役は、こどもたちであり、喜志小学校のこどもたちは、我々喜志小学校職員も含めた『喜志』地域（人々も自然も）で育てていきます。そして、こどもたちが大人になった時、『喜志』に対して恩返し、さらに、『喜志』の次世代に対して恩送りをしてくれる、そんな『喜志』にしていきたいです。さあ、今日も『喜志』一心！！

●8月24日（火） 2学期も、乞うご期待！

昨夜、布団に入ってから、あまりにも面白い本？を読み続けた結果、朝の登校は、6時45分となりました。久しぶりに水やりをしました。軒下の植物たちは、「やっと水来ましたなあ」と声を掛け合っていました。ずっと雨に濡れていた植物たちは、微妙な？表情を見せていました。職員室に戻りいつものように、8時30分朝の連絡会（職員朝礼）を開始。本校では、夏季休業中も毎日行っていて、元気な「おはようございます」で一日を始めています。職員は、2学期に向けての準備と研修等、そしてとても大切にしている情報交換を行い、ひとり一人が、“チーム喜志”としても、総合的な指導力の向上を図っています。今日も『喜志』は元気です！

●8月25日（水） 季節は巡りて

今朝は6時登校。職員室を開けるや否や「えっつ？」と違和感。東側の窓の遮光カーテンはすべて閉まっているのに、この暑さは何だろう？ 天気予報でも、今日の最高気温は34℃。熱中症に注意が必要だ。一方で、昨夕、ツクツクボウシが鳴いていた。「これが鳴き出すと秋やなあ」と思うが、実は、このツクツクボウシ、7月から鳴いているらしい。声が小さいので気づかれないが、他のセミが減ってきたこの時期に、美しい音色を聞かせてくれるのだそうだ。今朝もまだアブラゼミは元気に鳴いているが、ツクツクボウシが、今夕も『喜志』に一服（本来は毒を盛るという意味もあるらしいが）の涼を運んでくれるだろう。できれば、昨夕と同じツクツクボウシで・・・。

●8月26日（木） 2学期準備！

「校長先生、今日の日記は？」朝から、2学期に向けた詳細な打合せを職員一同行っておりました。更新が遅くなり申し訳ありません。今朝も、水やりをしました。3年生のホウセンカは、同じプランター内で、赤・紅白・白・白紫と、まさに色々楽しませてくれています。2年生とひまわり学級のオクラも、それぞれまだまだ収穫できそうです。それから、しばらく姿を見せなかったアマガエルが、水やりにびっくりしたのか、ミカンの木の中から飛び出してきました。「飛び出し注意！」いやいや急に水を降らせた私が悪かったのか・・・。

チーム喜志も喜志の自然も、ともに『喜志』で2学期準備！

●8月27日（金） 期待とともに

「やっと学校始まるわ！」今朝、学童クラブへ来たこどもの第一声でした。いつもと違う夏休み。本当に工夫・苦勞して、この夏休みを過ごしたのだろうか、早く仲間と一緒に学校生活を送りたかったんだろうな、そんな様子や気持ちがひしひしと伝わってきます。この気持ちを大切に、安心・安全な2学期をスタートしていきます。プール外のパンジーは全滅したけれど、図書館下は、数は減ったものの、今朝も元気に花を咲かせていました。実験（夏休み中、パンジーの花を咲かせ続ける）は、成功したようです。今日も入れてあと3日気を抜かず、始業式の日、こどもたちに「みんなを応援し続けてくれた奇跡のパンジー」を見せたいと思います。今日もみんな『喜志』生活を楽しもう。

●8月28日(土) 癒し

今朝は6時20分に登校。朝来た時に机上に何も無い状態で、気持ちよく一日を始めたいのですが、昨日は少し遅くなったので片付けできず。というわけで、今朝はそこからスタート。それからいつものように校内水やり、そうそう、奇跡の復興米(バケツ稲)も、たわわに実りました。いよいよここから、黄金色になっていきます。喜志小にも、秋がそこまで来ています。そして正門前道路にも打ち水。「おはようございます。」お散歩、通勤、ご用事、通学、お墓参り・・・、多くの方と朝の挨拶を交わします。「今は大変やけど、校長先生がんばってや！」本当に優しい『喜志』の方々。「いつも応援ありがとうございます。」さあ、今日も元気に『喜志』生活!

●8月29日(日) 『喜志』の40日間に「ありがとう!」

今朝も6時20分に登校。7時までに正門前道路打ち水と正門・職員室前の植え込みの水やりを済ませました。というのも、今日で40日間の夏休みが終わると同時に、同期間の「ラジオ体操」が終わるからです。最終日ぐらい、気持ちだけでも涼しく校内へ入ってもらおうと思って・・・。体操が終わって、地域の方々とお互いに40日間の健闘?をたたえ合いながら、「やっぱり来年度は大々的に(ラジオ体操)やりましょう。」「そうや、喜志小学校創立150周年記念『夏休みラジオ体操』にしよう!」と話がはずみました。今はピンチですが、これをチャンスに変える(力を蓄える、出来ることからやる)事はできます。夏休み40日間でそんな思いを更に強くしました。2学期も『喜志一心』でやっていきます。よろしくお祈りします。